SONY®

REF 4-171-242-02 (1)

LCD モニター

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。


電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

LMD-2451MD

安全のために

ソニー製品は正しく使用すれば事故が起きないように、安全には充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はまちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあり、危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4 ～ 7 ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の安全上の注意事項が記されています。
7 ページの「使用上のご注意」もあわせてお読みください。

定期点検をする

長期間安全に使用していただくために、定期点検を実施することをおすすめします。点検の内容や費用については、ソニーのサービス窓口にご相談ください。

故障したら使わない

すぐに、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたり、キャビネットを破損したときは

❶ 電源を切ります。
❷ 電源コードや接続ケーブルを抜きます。
❸ お買い上げ店またはソニーのご相談窓口までご相談ください。

警告表示の意味

この取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号


火災


感電

行為を禁止する記号


禁止


分解禁止


ぬれ手禁止

行為を指示する記号


指示


プラグをコンセントから抜く

目次





下記の注意を守らないと、
火災や**感電**により**死亡**や**大けが**に
つながることがあります。


禁止

3P-2P 変換アダプターを使用しない

3P の電源プラグを 2P に変換するアダプターは確実な接地・接続ができないため、感電の原因となります。


禁止

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所では設置・使用しない

上記のような場所に設置すると、火災や感電の原因となります。
取扱説明書に記されている仕様条件以外の環境での使用は、火災や感電の原因となります。


禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- 設置時に、製品と壁やラック、棚などの間に、はさみ込まない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口に交換をご依頼ください。


指示

電源コードのプラグおよびコネクターは突きあたるまで差し込む

まっすぐに突きあたるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。


分解禁止

内部を開けない

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットや裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となることがあります。内部の調整や設定、点検、修理はお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。


禁止

通気孔をふさがない

通気孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 壁から 10cm 以上離して設置する。
- 密閉された狭い場所に押し込めない。
- 毛足の長い敷物（じゅうたんや布団など）の上に設置しない。
- 布などで包まない。
- あお向けや横倒し、逆さまにしない。


禁止

ファンが止まったままの状態で使用しない

本機では、ファンが止まると前面パネルの RETURN ボタンが点滅します。ファンが止まったまま使用し続けると、内部に熱がこもり火災の原因になることがあります。
ソニーのサービス担当者にご連絡ください。



注意

下記の注意を守らないと、
けがをしたり周辺の物品に**損害**を
与えることがあります。


禁止

DC IN 端子に規格以外の入力電圧をかけない

DC IN 端子に規格以外の入力電圧をかけると火災や感電の原因となることがあります。


指示

表示された電源電圧で使用する

製品の表示と異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。


禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。


指示

設置は専門の工事業者に依頼する

設置については、必ずお買い上げ店またはソニー業務用商品相談窓口にご相談ください。
壁面や天井などへの設置は、本機と取り付け金具を含む重量に充分耐えられる強度があることをお確かめください。充分な強度がないと、落下して、大けがの原因となります。
また、1 年に 1 度は、取り付けがゆるんでないことを点検してください。


禁止

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてケガの原因となることがあります。
また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。


指示

指定された電源ケーブル、接続ケーブルを使う

この取扱説明書に記されている電源ケーブル、接続ケーブルを使わないと、火災や故障の原因となることがあります。


プラグをコンセントから抜く

入力アダプターを取り付ける際には電源を切って電源プラグを抜く

入力アダプターを取り付ける際にはモニターの電源を切り、電源プラグを抜いてください。モニターの電源を入れたまま入力アダプターを取り付けると感電の原因になることがあります。


指示

コード類は正しく配置する

電源コードや接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。
充分注意して接続・配置してください。


指示

安定した場所に設置する

製品が倒れたり、搭載した機器が落下してけがをすることがあります。
充分な強度がある水平な場所に設置してください。


禁止

直射日光の当たる場所や熱器具の近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。


ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。


指示

接続の際は電源を切る

電源コードや接続コードを接続するときは、電源を切ってください。感電や故障の原因となることがあります。


プラグをコンセントから抜く

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



移動の際は電源コードや接続コードを抜く

コード類を接続したまま本機を移動させると、コードに傷がついて火災や感電の原因となることがあります。



定期的に内部の掃除を依頼する

長い間、掃除をしないと内部にホコリがたまり、火災や感電の原因となることがあります。1年に1度は、内部の掃除をお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください（有料）。
特に、湿気の多くなる梅雨の前に掃除をすると、より効果的です。

その他の安全上のご注意

警告

設置の際には、容易にアクセスできる固定配線内に専用遮断装置を設けるか、使用中に、容易に抜き差しできる、機器に近いコンセントに電源プラグを接続してください。万一、異常が起きた際には、専用遮断装置を切るか、電源プラグを抜いてください。

機器を水滴のかかる場所に置かないでください。また水の入った物、花瓶などを機器の上に置かないでください。

本機の幅および奥行きより広いところに設置してください。
本機が設置面からはみだしていると、本機が傾いたり転倒することにより、けがの原因となることがあります。

注意

付属の電源コードは本機の専用品です。
他の機器には使用できません。

本機に使われている記号について

記 号	使われている場所	意 味
⦿	底面	電源スイッチ 本機の電源をオンにします。
(オフ記号)	底面	電源スイッチ 本機の電源をオフにします。
(等電位記号)	後面	等電位端子
(アース記号)	後面	機能アース
(キー記号)	前面	キーロック 各種設定項目の変更が効きません。

使用上のご注意

使用・設置場所について

次のような場所での使用・設置はお避けください。

- 異常に高温になる場所
  炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内はとくに高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 直射日光の当たる場所、熱器具の近く
  変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動のある場所
- 強力な磁気のある場所
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることがあります。

液晶画面について

- 液晶画面を太陽にむけたままにすると、液晶画面を傷めてしまいます。窓際や室外に置くときなどはご注意ください。
- 液晶画面を強く押したり、ひっかいたり、上にものを置いたりしないでください。画面にムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
- 寒い所でご使用になると、画像が尾を引いて見えたり、画面が暗く見えたりすることがありますが、故障ではありません。温度が上がると元に戻ります。
- 固定された画像または静止画を長時間表示した場合、残像や焼きつきの原因となることがあります。
- 使用中に画面やキャビネットがあたたかくなることがありますが、故障ではありません。

蛍光管について

本機は内部照明装置として専用蛍光管を使用しておりますが、この蛍光管には寿命があります。画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、新しい専用蛍光管に取り換えてください。蛍光管の交換については、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にお問い合わせください。

液晶画面の輝点・滅点について

本機の液晶パネルは有効画素 99.99% 以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面上に黒い点が現れたり（画素欠け）、常時点灯している輝点（赤、青、緑など）や滅点がある場合があります。また、液晶パネルの特性上、長期間ご使用の間に画素欠けが生じることもあります。これらの現象は故障ではありませんので、ご了承の上本機をお使いください。

お手入れのしかた

お手入れをする前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

モニターのお手入れについて

医療用液晶モニターの前面保護板は消毒を前提とした素材が使用されていますが、保護板表面には、光の反射を防止するため、特殊な表面処理を施してあります。保護板表面／本体表面の汚れをベンジンやシンナー、酸性洗浄液、アルカリ性洗浄液、研磨剤入り洗浄剤、化学ぞうきんなどで拭くと性能を損なったり、表面の仕上げを傷めたりすることがありますので、以下のことをお守りください。

- 清掃は 50 ～ 70v/v% 濃度のイソプロピルアルコールまたは 76.9 ～ 81.4v/v% 濃度のエタノールで保護板表面／本体表面を清拭法で清掃してください。
  なお、保護板表面を拭くときは、軽くなでる程度にしてください。（拭き取り力の目安は 1 N 以下です。）
- 汚れがひどいときは、クリーニングクロスなどの柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を少し含ませて拭きとった後、上記薬液を用いて清拭法で清掃してください。
  ベンジンやシンナー、酸性洗浄液、アルカリ性洗浄液、研磨剤入り洗浄剤、化学ぞうきんなどは保護板表面／本体表面を傷めますので、清掃や消毒には絶対に使用しないでください。
- 布にゴミが付着したまま強く拭かないでください。保護板表面／本体表面に傷が付くことがあります。
- 保護板表面／本体表面にゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

搬送について

- 運ぶときは、画面の下部を両手でしっかり持ってください。落としたりするとけがや故障の原因となることがあります。
- 修理や引っ越しなどで本機を運ぶ場合は、本機用の箱とクッションを使用してください。

電源接続について

付属の電源コードをお使いください。

複数台使用のお勧め

モニターが故障する場合を考え、人や財産の安全性に関わる用途や緊急かつ確実な映像再現が求められる用途でご使用の際は複数台のモニターを使用されるか、もしくは代替機を準備されることを強くお勧めします。

廃棄するときは

- 一般の廃棄物と一緒にしないでください。
  ごみ廃棄場で処分されるごみの中にモニターを捨てないでください。
- 本機の蛍光管の中には水銀が含まれています。破棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

ファンエラーについて

本機には冷却用ファンが内蔵されています。RETURN ボタンが点滅した場合（ファンエラー警告）は、電源を切りお買い上げ店、またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

結露について

本機を寒い場所から暖かい場所へ急に移動させたり、機器が温かい状態で設置箇所の冷房等を入れ、急速に機器周辺が冷却されたりすると、機器表面や内部に水滴が生じたり、保護パネル内側の面が曇ることがあります。
この現象を結露といい、故障ではありません。
しかし結露は、機器の故障の原因になることがあります。
結露が生じない場所に本機を設置してください。
結露が生じたときは電源を切り、結露がなくなるまで放置してからご使用ください。

主な特長

アメリカ、カナダ、ヨーロッパの医療用の安全規格を取得

アメリカ UL60601-1、カナダ CSA C22.2 No.601.1、ヨーロッパ EN 60601-1 の安全規格を取得したモニターです。シートスイッチや画面保護パネルなど、医療分野での使用を考慮した設計です。

画像

フルデジタル 10 ビット信号処理回路

デジタル信号はもちろんのこと、アナログ信号も入力直後にデジタル変換し、すべての信号処理が 10 ビットのフルデジタル回路で行われます。これにより滑らかな階調表現で劣化の少ない画像を実現しています。

2 カラー方式

NTSC、PAL の 2 つのカラー方式に対応しています。

オートクロマ・フェーズ機能を標準装備

デコーダーのクロマやフェーズを自動調整するオートクロマ・フェーズ機能を標準装備しています。

高画質・高解像度 WUXGA LCD パネル

WUXGA（1,920 × 1,200 ドット）の高解像度パネルと高輝度・超広視野角技術により、様々な照明環境や使用形態（壁掛け、画像監視のため複数台の使用など）でお使いいただけます。また、色再現範囲の広いカラーフィルターや高速に反応する液晶材料を採用したことにより、ビデオ信号の動画像もより鮮明に再現されます。
さらに、高周波数での信号のサンプリングを行ない、RGB またはコンポーネント信号（480/60I、575/50I）時に 700TV 本以上の高解像度を実現しています。

入力

アナログ RGB 入力信号対応 *1

スキャンコンバーターを内蔵し、HD15 入力端子に入力された VGA、SVGA、XGA、SXGA のアナログ RGB 信号を表示することができます。

DVI-D（デジタル）入力信号対応 *1

スキャンコンバーターを内蔵し、DVI 入力端子に入力された VGA、SVGA、XGA、SXGA のデジタルコンピューター信号を表示することができます。
DVI 入力は、別売の入力アダプターをオプションスロットに搭載することで入力数を増やすことが可能です。
DVI 入力で SXGA 以上の信号を使用するときは 3 m 以内のケーブルをご使用ください。

*1 対応するフォーマットは「プリセット信号について」（36 ページ）を参照してください。

オプションスロット構造

別売の入力アダプターを 2 枚搭載することが可能です。
コンポジットまたは Y/C、コンポーネント、アナログ RGB、SDI (シリアルデジタルインターフェース) 、DVI-D を各アダプターの入力数に応じて入力することができます。SDI は HD-SDI、SD-SDI のほか、HD-SDI の 2 倍のデータ量をシングルリンクで伝送する 3G-SDI に対応しています。

マルチフォーマット *2

NTSC、PAL の 2 つのカラー方式や 720P、1080i などの各種 DTV フォーマットに対応でき、切り換えは自動です。

*2 対応するフォーマットは「対応信号フォーマット」（36 ページ）を参照してください。

外部同期信号入力端子

外部同期信号発生器などからの同期信号を入力できます。

機能

APA(Auto Pixel Alignment) 機能

HD15 入力端子に入力された信号に対して、APA キーを押すだけで最適な画質に調整できます。

自動終端解放（-W- マークの付いた端子のみ）

後面の入力端子は、出力端子に何も接続していないときは、内部で 75Ω で終端されています。出力端子にケーブルが接続されると、内部の終端が自動的に解放され、入力端子に入力された信号が出力端子に出力されます（ループスルー）。

色温度／ガンマ切り換え機能

「高」、「低」、「低 2」の 3 つの色温度とあらかじめ設定された 2.2 と DICOM の 2 つのガンマから用途やお好みに応じて選択することができます。色温度は好みに応じて「ユーザー設定」で変更することもできます。

二画面表示

画面上に 2 種類の入力画像を並べて表示できます。
◆詳しくは、「二画面設定」の表示選択（28 ページ）をご覧ください。

色域変換機能

ITU-R BT.709 をメニューで選択することができます。

アスペクト切り換え機能

入力ビデオ信号に応じて 4:3 と 16:9 の画角を切り換えることができます。

スキャン切り換え機能

HD15、DVI 入力信号を除き、画像のスキャンサイズを変更することができます。モードは「ノーマル」、「オーバー」、「フルスクリーン」、「ネイティブ」から選択できます。

メニュー表示言語の選択

メニュー画面より、英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、イタリア語、日本語、中国語の 7 か国語から選んで画面を表示することが可能です。

パワーセーブ機能

入力信号がないときなど自動で消費電力を抑える状態に入ります。

キーロック機能

各種調整キーの誤操作を防ぐため、調整キーをロックできます。

ユーザーメモリー機能

お好みに応じた画質の設定を、最大 20 種類まで名前をつけてセーブすることができます。また、ユーザーメモリーに記憶されたデータは、本機とシリアルリモートで接続した外部機器（PC など）との間でセーブ、ロードをすることができます。

2 種類のアース端子搭載

機器間の電位を等しくするため、2 種類のアース端子を装備しています。

外部リモート機能

シリアルリモート（Ethernet）で外部接続機器から入力選択や各種調整ができます。

Ethernet (10BASE-T/100BASE-TX) により、モニターと接続し、ネットワーク上でリモートコントロールができます。

◆詳しくは、リモートメニューのシリアルリモート（31 ページ）をご覧ください。

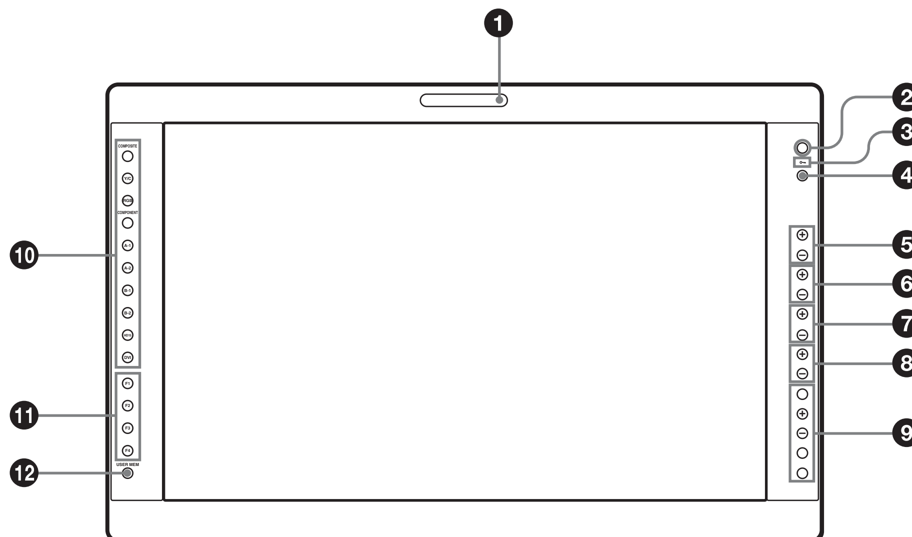
その他

別売スタンド

卓上用に別売のスタンド（SU-560）を用意しています。

各部の名称と働き

前面パネル



❶ タリーランプ
入力画面のモニター状態を色によって表示することができます。
リモートメニューのパラレルリモートの設定に応じて、緑で点灯します。

❷ 電源インジケーター
電源が入ると緑色に点灯します。

❸ ⊶（キーロック）インジケーター
キーロックメニューでキーロックをオンにすると緑に点灯します。

❹ CONTROL ボタン
前面パネルの操作ボタンを表示させたり、消したりすることができます。

❺ CONTRAST（コントラスト）調整ボタン
コントラストを調整します。
＋を押すとコントラストが強くなり、－を押すと弱くなります。

❻ PHASE（色相）調整ボタン
色あいを調整します。
＋を押すと肌色が緑がかり、－を押すと紫がかります。

❼ CHROMA（色の濃さ）調整ボタン
色の濃さを調整します。
＋を押すと色が濃くなり、－を押すと薄くなります。

❽ BRIGHT（明るさ）調整ボタン
明るさを調整します。
＋を押すと画面が明るくなり、－を押すと暗くなります。

❾ メニュー操作ボタン
メニュー画面の表示や設定をします。

MENU（メニュー）ボタン
メニューを表示したり表示を消したりするときに使います。
押すとメニューが表示され、もう一度押すと消えます。

＋/－ボタン
項目および設定値を選択するときに使います。

ENTER（決定）ボタン
メニューで内容を決定するときに使います。
メニュー画面が表示されていないときこのボタンを押すと、判別された信号フォーマットが表示されます。

RETURN（リターン）ボタン
メニュー画面が表示されているときこのボタンを押すと、調整した項目の調整値を１つ前の状態に戻します。
メニュー画面が表示されていないときこのボタンを押すと、ユーザー設定メニューのファンクションボタン設定で選択された機能が F1 ～ F4 ボタンの横に表示されます。また、ファン停止時には、このボタンが点滅します。

❿ 入力切り換えボタン
各端子に入力された信号をモニターするとき押します。

A-1、A-2、B-1、B-2 ボタンは別売の入力アダプターを入力オプションスロットに取り付けたとき使用します。

COMPOSITE ボタン : COMPOSITE IN 端子からの信号をモニターするとき

Y/C ボタン : Y/C IN 端子からの信号をモニターするとき

RGB ボタン : R/G/B IN のそれぞれの端子からの RGB 信号をモニターするとき

COMPONENT ボタン : Y/PB/PR IN のそれぞれの端子からのコンポーネント信号をモニターするとき

A-1 ボタン : 入力オプションスロット A に装着された、入力アダプターの [1] の端子からの信号をモニターするとき、または BKM-229X や BKM-256DD からの RGB 信号をモニターするとき

A-2 ボタン : 入力オプションスロット A に装着された、入力アダプターの [2] の端子からの信号をモニターするとき、または BKM-229X や BKM-256DD からの Y/PB/PR 信号をモニターするとき

B-1 ボタン : 入力オプションスロット B に装着された、入力アダプターの [1] の端子からの信号をモニターするとき、または BKM-229X や BKM-256DD からの RGB 信号をモニターするとき

B-2 ボタン : 入力オプションスロット B に装着された、入力アダプターの [2] の端子からの信号をモニターするとき、または BKM-229X や BKM-256DD からの Y/PB/PR 信号をモニターするとき

HD15 ボタン : HD15 入力端子からの信号をモニターするとき

DVI ボタン : DVI-D 入力端子からの信号をモニターするとき

⓫ ファンクションボタン

割り当てられた機能をオン／オフすることができます。
工場出荷時は次の設定になっています。

F1 ボタン : 外部同期

F2 ボタン : スキャン

F3 ボタン : アスペクト

F4 ボタン : 二画面表示

ユーザー設定メニューのファンクションボタン設定で次の機能を割り当てることができます（28 ページ参照）。

スキャン、アスペクト、外部同期、ブルーオンリー、MONO、二画面表示、APA、I/P モード、鏡像

◆割り当てられる機能について詳しくは、29 ページをご覧ください。

⓬ USER MEM（ユーザーメモリー）ボタン

ユーザーメモリーメニュー（31 ページ）でセーブした画質の設定をロードするときに押します。

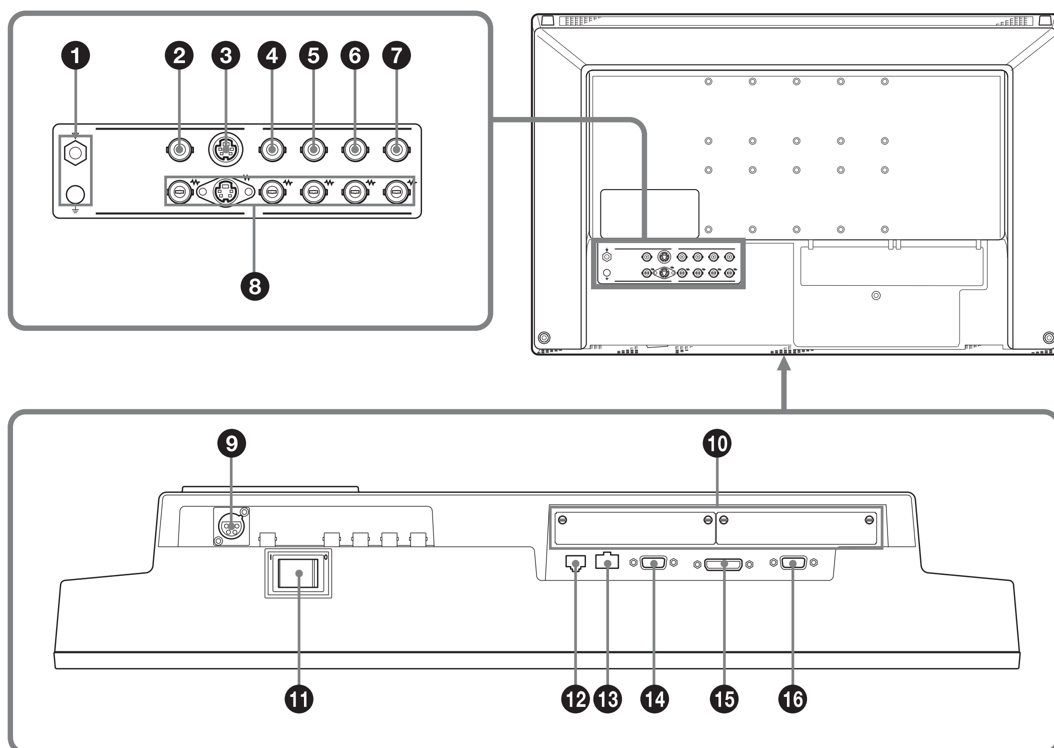
入力信号と調整・設定項目

項目	入力信号										
	ビデオ *3、Y/C*3	白黒信号 *3	コンポーネント *4		RGB*4		SDI			コンピューター	
			SD	HD	SD	HD	SD*5	HD*6	3G*14	DVI*13	HD15
コントラスト *1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ブライト *1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
クロマ *1	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
フェーズ *1	○ (NTSC)	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
アパーチャー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
色温度	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
カラースペース	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
オートクロマ / フェーズ	○	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×
ACC	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
CTI	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×
垂直シャープネス	○	○	○	×	○	×	○	×	×	×	×
マトリクス *2	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×
コンポーネントレベル	×	×	○ (480/60I)	×	×	×	×	×	×	×	×
NTSC セットアップレベル	○ (NTSC)	○ (480/60I)	×	×	×	×	×	×	×	×	×
スキャン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	× *8	× *8
ガンマ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
アスペクト *10	○	○	○	×	○	×	○	×	×	× *12	× *12
ブルーオンリー	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×
MONO	○	×	○	○	×	×	○	○	○	×	×
APA	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○ *11
サイズ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
シフト	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
ピッチ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
ドットフェーズ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
パワーセービング	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
I/P モード *7	○	○	○	○	○	○	○	○	×	× *8	× *8
二画面表示	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○ *9	○ *9

○：調整・設定できる項目
×：調整・設定できない項目

*1 SUB CONTROL の設定も同様です。
*2 コンポーネント信号（480/60I または 480/60P）入力で、コンポーネントレベルが SMPTE に設定されているときのみ切り換えできます。
*3 BKM-227W を装着すると入力数を増やすことができます。
*4 BKM-229X を装着すると入力数を増やすことができます。
*5 BKM-220D または BKM-243HS、BKM-250TG が装着されているとき入力することができます。
*6 BKM-243HS または BKM-250TG が装着されているとき入力することができます。
*7 インターレース信号のみ可能です。
*8 プリセット 2 ～ 6 では動作します（36 ページ参照）。
*9 二画面で表示可能な信号は、「二画面表示のとき」（39 ページ）をご覧ください。
*10 プリセット 7、8 では動作しません（36 ページ参照）。
*11 プリセット 1 のみ動作します（36 ページ参照）。
*12 プリセット 6 のみ動作します（36 ページ参照）。
*13 BKM-256DD を装着すると入力数を増やすことができます。
*14 BKM-250TG が装着されているとき入力することができます。

後面 / 底面パネル



❶ ⏚/⏚（等電位／機能アース）端子
⏚（等電位）端子
等電位プラグを接続します。
⏚（機能アース）端子
アース線を接続します。

❷ COMPOSITE IN（コンポジット入力）端子（BNC 型）
コンポジット信号の入力端子です。

❸ Y/C IN 端子（4 ピンミニ DIN）
Y/C 信号の入力端子です。

❹ G/Y IN 端子（BNC 型）
RGB 信号の G 信号、コンポーネント信号の Y（輝度）信号などの入力端子です。

❺ B/PB IN 端子（BNC 型）
RGB 信号の B 信号、コンポーネント信号の PB（青色差）信号などの入力端子です。

❻ R/PR IN 端子（BNC 型）
RGB 信号の R 信号、コンポーネント信号の PR（赤色差）信号などの入力端子です。

❼ EXT SYNC IN（外部同期入力）端子（BNC 型）
本機を外部同期で動作させるときに、外部同期信号発生器などからの基準信号を入力します。
外部同期信号を使う場合は、前面のファンクションボタンに割り当てられた外部同期ボタン（工場出荷時は F1 ボタン）を押します。

ご注意
本機へジッターなどがあるビデオ信号を入力すると、画像が乱れることがあります。その場合は、TBC（タイムベースコレクター）の使用をおすすめします。

❽ ループスルーアウト端子
❷から❼の各入力端子に入力された信号がそのまま出力されます。入力されている信号を確認して、ほかのビデオ機器のアナログ入力端子（コンポジット、Y/C、アナログコンポーネント、アナログ RGB、外部同期）と接続します。
これらの端子にケーブルを接続すると、入力の 75Ω 終端が自動的に解放され、入力端子に入力された信号が出力されます。

❾ DC 5V/24V IN 端子
付属の AC アダプターからの DC コネクターをつなぎます。

❿ 入力オプションスロット
別売の入力アダプターを取り付けることができます（17 ページ）。左側がスロット A、右側がスロット B です。

前面の A-1 または A-2、B-1、B-2 ボタンを押して入力を選択します。

⓫ ⊙/⏻（電源）スイッチ

本機の電源をオン / オフします。このスイッチを⊙にすると本機に電源が供給されます。

⓬ PARALLEL REMOTE（パラレルリモート）端子（モジュラーコネクター、8 ピン）

パラレルコントロールスイッチを構成してモニターを外部操作します。

工場出荷時は、端子カバーが付いています。ご使用の際は端子カバーを取りはずしてください。

◆端子カバーの取りはずしかたは、17 ページをご覧ください。

◆ピン配置と出荷時の各ピンへの機能の割り付けについて詳しくは、36 ページをご覧ください。

ご注意

安全のために、周辺機器を接続する際は、過大電圧を持つ可能性があるコネクターをこの端子に接続しないでください。

接続については本書の指示に従ってください。

⓭ SERIAL REMOTE（シリアルリモート）端子（RJ-45 型）

10BASE-T/100BASE-TX の LAN ケーブル（シールドタイプ、別売）でネットワークの LAN (10/100) 端子に接続します。

工場出荷時は、端子カバーが付いています。ご使用の際は端子カバーを取りはずしてください。

◆端子カバーの取りはずしかたは、17 ページをご覧ください。

◆この端子について詳しくは「プログラマー用インターフェース解説書」（付属の CD-ROM に収録、日本語と英語のみ）をご覧ください。

ご注意

- 別売の LAN ケーブルを接続する場合は、ノイズによる誤動作を防ぐため、必ずシールドタイプのケーブルを使用してください。
- 安全のために、周辺機器を接続する際は、過大電圧を持つ可能性があるコネクターをこの端子に接続しないでください。
  接続については本書の指示に従ってください。
- ネットワークの使用環境により、接続速度に差が生じることがあります。本機は 10BASE-T/100BASE-TX の通信速度や通信品質を保証するものではありません。

⓮ SERIAL REMOTE（シリアルリモート）RS-232C 端子（D-sub 9 ピン、凹）

外部機器の RS-232C コントロール端子に接続します。

接続された外部機器からコントロールコマンドを送ることで、モニターの操作を行うことができます。

◆ピン配置と出荷時の各ピンへの機能の割り付けについて詳しくは、36 ページをご覧ください。

◆この端子について詳しくは「プログラマー用インターフェース解説書」（付属の CD-ROM に収録、日本語と英語のみ）をご覧ください。

⓯ DVI-D 入力端子（DVI-D）

DVI Rev. 1.0 準拠のデジタル RGB 信号を入力します。

DVI 入力で SXGA 以上の解像度の信号を使用するときは、3 m 以内のケーブルをご使用ください。

⓰ HD15 入力端子（D-sub 15 ピン、凹）

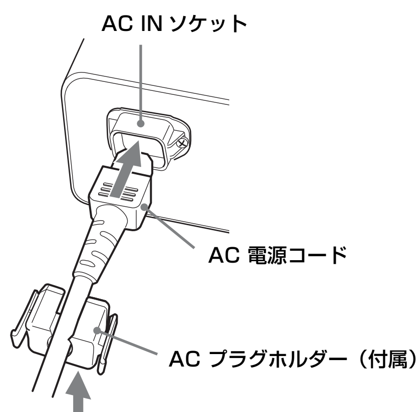
アナログ RGB の映像信号（0.7 Vp-p、正極性）と同期信号を入力します。

プラグアンドプレイ（Plug & Play）機能は DDC2B に対応しています。

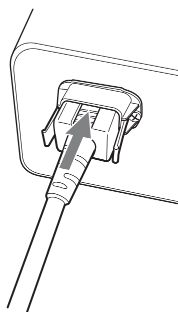
電源について

次のように電源コードを接続してください。
AC プラグホルダーは 2 種類付属されています。使用する電源コードのプラグが確実に固定できる方を選んでお使いください。

1 AC 電源コードを AC アダプターの AC IN ソケットに差し込み、AC プラグホルダーを AC 電源コードに取り付ける。



2 固定レバーがロックするまで、AC プラグホルダーをはめこむ。



3 DC コネクターを本機後面の DC 5V/24V IN ソケットにロックするまで差し込む。



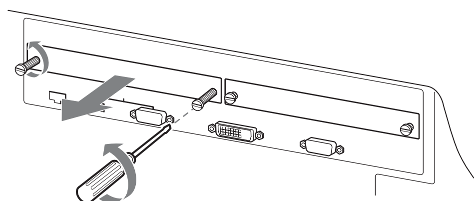
電源コードをはずすには

はじめに AC プラグホルダーの固定レバーを両側からはさんでロックをはずし、引き抜きます。
次に DC 5V/24V IN ソケットから DC コネクターのロックをはずして引き抜きます。

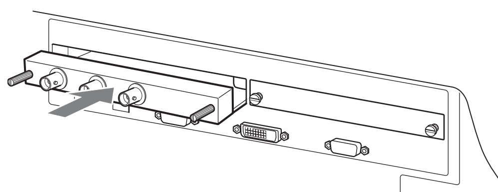
入力アダプターの取り付け

入力アダプターを取り付ける前に必ず電源ケーブルを抜いてください。

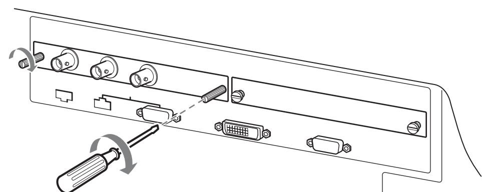
1 入力オプションスロットのパネルをはずす。



2 入力アダプターを入力オプションスロットに差し込む。

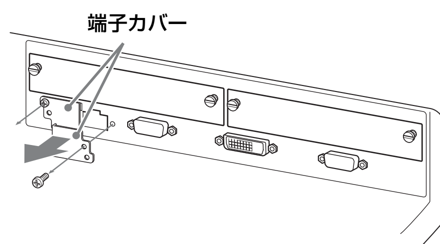


3 ネジで止める。



端子カバーの取りはずしかた

工場出荷時は、PARALLEL REMOTE 端子と SERIAL REMOTE 端子（RJ-45 型）に端子カバーが取り付けられています。
この端子を使うときは、以下のように端子カバーを取りはずしてください。
端子カバーを取りはずす前に必ず電源ケーブルを抜いてください。



1 端子カバーのネジをはずす。

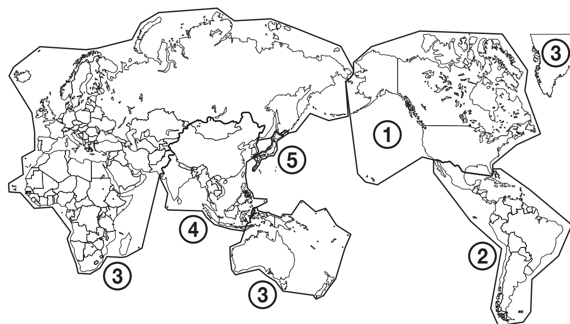
2 端子カバーを取りはずす。

はずしたネジと端子カバーは、なくさないように保管してください。

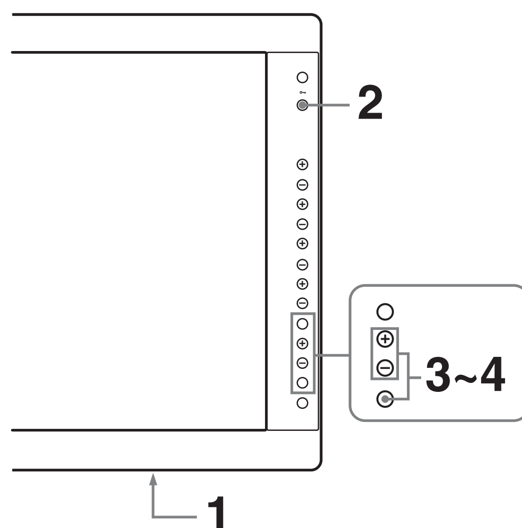
基本設定の選択

はじめてお使いになるときはお使いになる地域の選択を行ってください。
地域を選択すると、メニュー内の各項目がお使いの地域に合った値に設定されます。

地域別基本設定値

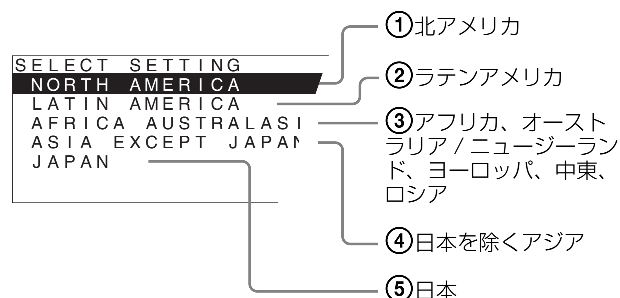


		色温度	コンポーネントレベル	NTSCセットアップ
①NORTH AMERICA		低	BETA7.5	7.5
②LATIN AMERICA PAL&PAL-N AREA	ARGENTINA	低	SMPTE	0
	PARAGUAY	低	SMPTE	0
	URUGUAY	低	SMPTE	0
NTSC&PAL-M AREA	OTHER AREA	低	BETA7.5	7.5
③AFRICA AUSTRALASIA EUROPE MIDDLE-EAST		低	SMPTE	0
④ASIA EXCEPT JAPAN	NTSC AREA	低	BETA7.5	7.5
	PAL AREA	低	SMPTE	0
⑤JAPAN		高	SMPTE	0



1 底面の⊙/⏻（電源）スイッチで電源を入れる。

SELECT SETTING 画面が表示されます。

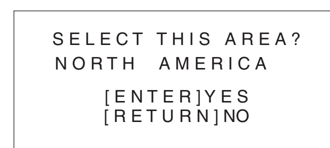


2 CONTROL ボタンを押す。

3 + または – ボタンを押して、本機をお使いになる地域を選び、ENTER ボタンを押す。

①、③、⑤ が選ばれたとき

確認画面が表示されます。地域が正しいことを確認してください。
間違っている場合は、RETURN ボタンを押してひとつ前の画面に戻り設定し直してください。

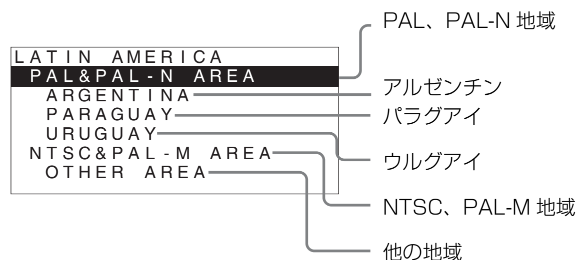


②、④ が選ばれたとき

次の画面が表示されますので + または – ボタンで再度地域を選んで ENTER ボタンを押してください。
確認画面が表示されます。地域が正しいことを確認してください。

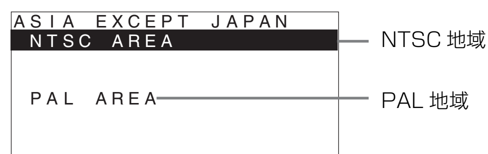
間違っている場合は、RETURN ボタンを押してひとつ前の画面に戻り設定し直してください。

② LATIN AMERICA が選ばれたとき：



④ ASIA EXCEPT JAPAN が選ばれたとき：
下の地図でグレーに色付けされた地域でお使いの場合は、NTSC AREA を選んでください。
他の地域でお使いの場合は、PAL AREA を選んでください。





4 ENTER ボタンを押す。

SELECT SETTING 画面が消えて、自動的にメニュー内の各項目が、選択した地域に合った値に設定されます。

設定値については「地域別基本設定値」（18 ページ）をご覧ください。

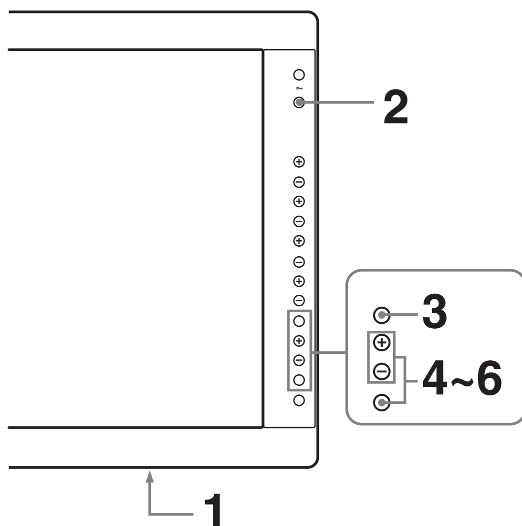
ご注意

地域を間違えて設定した場合は、メニューを使い以下の項目を変更してください。

- 色温度（24 ページ）
- コンポーネントレベル（27 ページ）
- NTSC セットアップ（27 ページ）

メニュー表示言語の切り換え

メニュー画面やメッセージの表示言語を 7 言語（ENGLISH、FRANÇAIS、DEUTSCH、ESPAÑOL、ITALIANO、日本語、中文）の中から選ぶことができます。
メニューの言語は「ENGLISH（英語）」に初期設定されています。
メニュー画面のイラスト上の ■ マーク部分に現在の設定値が表示されます。



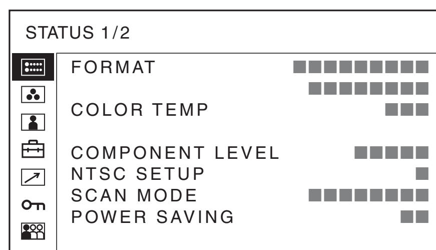
1 電源を入れる。

2 CONTROL ボタンを押す。

操作ボタンが表示されます。

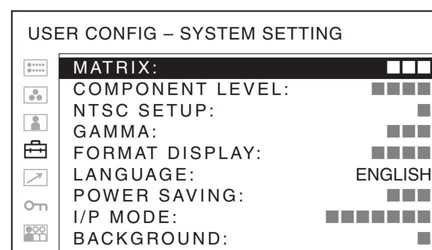
3 MENU ボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。
現在選択されているメニューが黄色で表示されます。



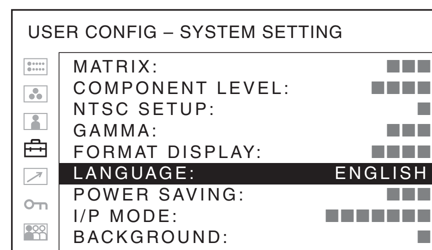
4 + または－ボタンを押して USER CONFIG（ユーザー設定 ）メニューの SYSTEM SETTING（システム設定）を選び、ENTER ボタンを押す。

選んだメニューの設定項目（アイコン）が黄色で表示されます。



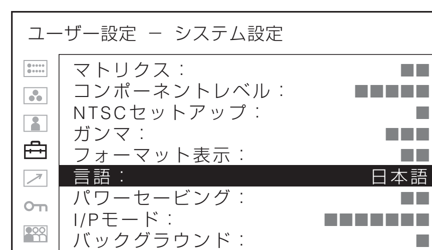
5 + または－ボタンを押して「LANGUAGE」を選び、ENTER ボタンを押す。

選んだ項目が黄色で表示されます。



6 + または－ボタンを押して表示させたい言語を選び、ENTER ボタンを押す。

画面表示が選んだ言語に切り替わります。



メニュー画面を消すには

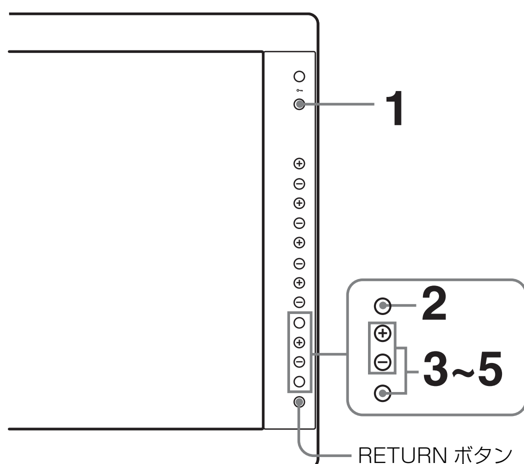
MENU ボタンを押します。
約 1 分間操作をしないとメニューは自動的に消えます。

メニューの操作方法

本機では、画質調整や入力信号の設定、初期設定の変更など、各種調整や設定をメニュー画面で行います。メニュー画面表示の言語を切り換えることもできます。

◆表示言語を変えるには、「メニュー表示言語の切り換え」（20 ページ）をご覧ください。

メニュー画面のイラスト上の■マーク部分に現在の設定値が表示されます。

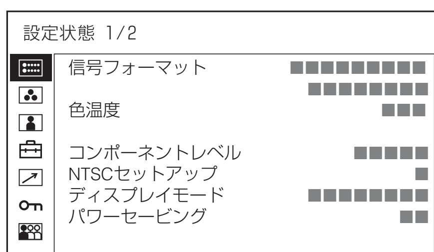


1 CONTROL ボタンを押す。

操作ボタンが表示されます。

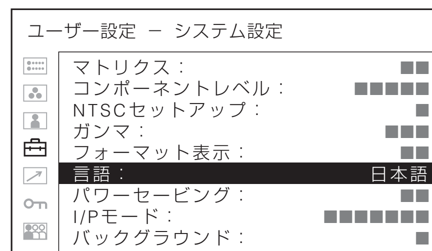
2 MENU ボタンを押す。

メニュー選択画面が表示されます。
現在選択されているメニューが黄色で表示されます。



3 ＋または－ボタンを押してメニューを選び、ENTER ボタンを押す。

選んだメニューのアイコンが黄色で表示され、設定項目が表示されます。



4 項目を選ぶ。

＋または－ボタンを押して設定項目を選び、ENTER ボタンを押します。
変更する項目が黄色で表示されます。
項目が複数メニューページにおよぶ場合、＋または－ボタンを押して必要なメニューページに入ります。

5 設定項目の調整や設定をする。

数値を変更する項目の場合：
数値を大きくするときは、＋ボタンを押します。
数値を小さくするときは、－ボタンを押します。
ENTER ボタンを押すと確定され、元の画面に戻ります。
設定を選ぶ場合：
＋または－ボタンを押して設定を選び、ENTER ボタンを押します。
調整や設定値を元に戻す場合：
ENTER ボタンを押す前に、RETURN ボタンを押します。

ご注意

- 設定項目で黒色表示の項目はアクセスできない状態を意味します。白色表示にかわるとアクセスが可能になります。
- キーロックがオンに設定されている場合、すべて設定項目が黒色表示になります。設定変更が必要な場合は、キーロックをオフに設定しなおしてから行ってください。

◆キーロックについて詳しくは、31 ページをご覧ください。

画面を 1 つ前に戻すには

RETURN ボタンを押します。

メニュー画面を消すには

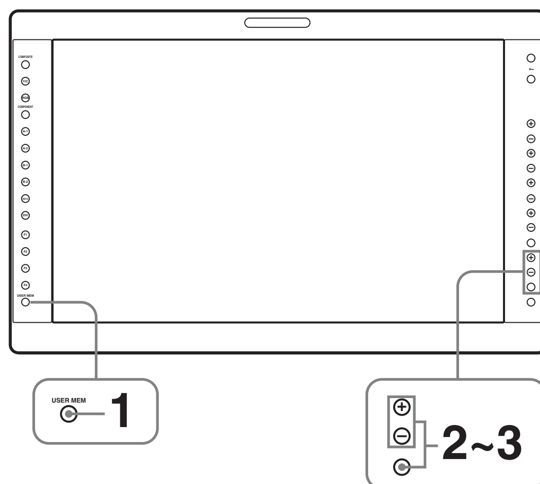
MENU ボタンを押します。
約 1 分間操作をしないとメニューは自動的に消えます。

設定値の記憶について

設定値は自動的に記憶されます。

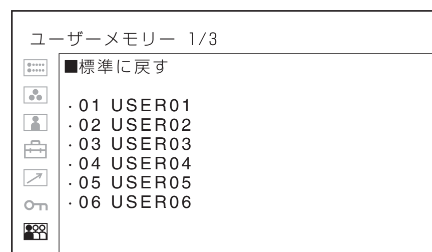
ユーザーメモリーのロード

「ユーザーメモリーのセーブ」（32 ページ）でセーブした画質の設定をロードすることができます。



1 USER MEM ボタンを押す。

ユーザーメモリーメニューが表示されます。



2 メモリー番号を選ぶ。

＋または－ボタン：メモリー番号を選択

3 ENTER ボタンを押す。

選択したメモリーから画質の設定をロードした後、メニュー画面が消えます。

メモリー選択を止めるには

USER MEM ボタンを押します。
ユーザーメモリーメニューが消えます。

表示画面を初期設定値に戻すには

「標準に戻す」を選び、ENTER ボタンを押します。

メニューを使った調整

項目一覧

本機のスクリーンメニューは次のような構成になっています。

設定状態（表示のみ）

ビデオ入力のとき

信号フォーマット
色温度
コンポーネントレベル
NTSC セットアップ
ディスプレイモード
パワーセービング
機種名およびシリアルナンバー
オプション A およびシリアルナンバー
オプション B およびシリアルナンバー

DVI/HD15 入力のとき

信号フォーマット
水平周波数
垂直周波数
色温度
パワーセービング
機種名およびシリアルナンバー
オプション A およびシリアルナンバー
オプション B およびシリアルナンバー

ホワイトバランス / カラースペース

色温度
マニュアル調整
カラースペース

ユーザーコントロール

ビデオ入力のとき

オートクロマ／フェーズ
サブコントロール
ピクチャーコントロール
入力設定

DVI/HD15 入力のとき

サブコントロール
ピクチャーコントロール

ユーザー設定

システム設定
　マトリクス
　コンポーネントレベル
　NTSC セットアップ
　ガンマ
　フォーマット表示
　言語
　パワーセービング
　I/P モード
　バックグラウンド
二画面設定
　二画面表示
　表示選択
　入力選択
　画面位置
　画面位置左右
ファンクションボタン設定
　F1 ボタン
　F2 ボタン
　F3 ボタン
　F4 ボタン
コンピューターディテクト
　DVI
　HD15
オプション DVI 設定 *1
　外部 5V（DVI イン）
　外部 5V（DVI アウト）
　EDID アップデート
　EDID 設定状態

*1 BKM-256DD 装着時のみ表示

リモート

パラレルリモート
シリアルリモート

キーロック

キーロック

ユーザーメモリー

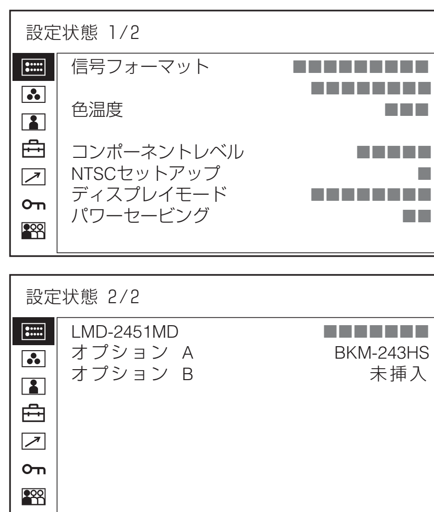
01 ～ 20

調整と設定

設定状態メニュー

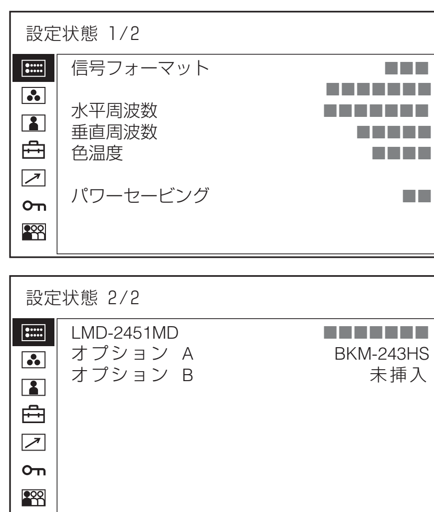
本機の現在の設定状況を表示します。表示される項目は以下のとおりです。

ビデオ入力のとき



- 信号フォーマット
- 色温度
- コンポーネントレベル
- NTSC セットアップ
- ディスプレイモード
- パワーセービング
- 機種名およびシリアルナンバー
- オプション A およびシリアルナンバー
- オプション B およびシリアルナンバー

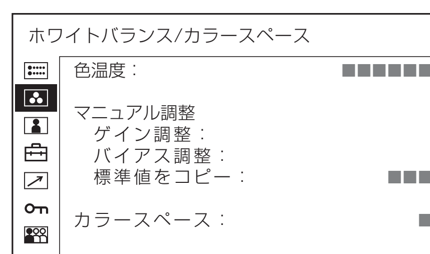
DVI/HD15 入力のとき



- 信号フォーマット
- 水平周波数
- 垂直周波数
- 色温度
- パワーセービング
- 機種名およびシリアルナンバー
- オプション A およびシリアルナンバー
- オプション B およびシリアルナンバー

ホワイトバランス / カラースペースメニュー

画質のホワイトバランス / カラースペースを調整するメニューです。
ホワイトバランスの調整には測定器が必要です。
推奨品：コニカミノルタ社製カラーアナライザー CA-210



サブメニュー	設定
色温度	色温度を「高」、「低」、「ユーザー設定」、「低 2」から設定します。
マニュアル調整	色温度を「ユーザー設定」にしたとき、表示が黒色から白色にかわり、調整できるようになります。 調整値はメモリーされます。 • **ゲイン調整**：カラーバランス（ゲイン）を調整します。 • **バイアス調整**：カラーバランス（バイアス）を調整します。 • **標準値をコピー**：「高」または「低」、「低 2」を選択すると、選択された色温度のホワイトバランスデータが、「ユーザー設定」にコピーされます。
カラースペース	色域を「ITU-709」、「オフ」から設定します。「オフ」に設定すると液晶パネル本来の色を再現します。

ユーザーコントロールメニュー

画質を調整するメニューです。
入力信号によって調整できない項目は黒色で表示されます。

◆入力信号と調整・設定項目については、13 ページをご覧ください。

ビデオ入力のとき

ユーザーコントロール 1/3

オートクロマ/フェーズ
　オート調整値： ■■
　調整スタート：

ユーザーコントロール 2/3

サブコントロール
　コントラスト： ■
　ブライト： ■
　クロマ： ■
　フェーズ： ■
　アパーチャー： ■
　バックライト： ■

ユーザーコントロール 3/3

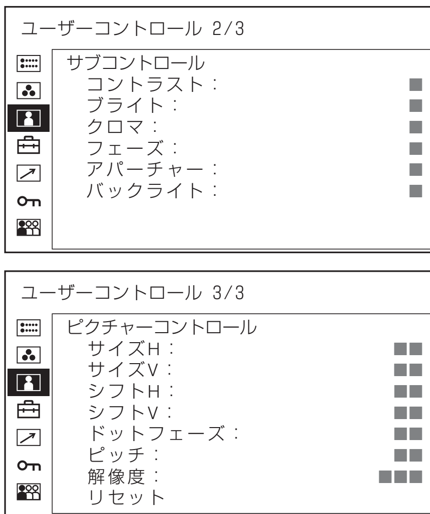
ピクチャーコントロール
　ACC： ■■
　CTI： ■
　垂直シャープネス： ■

入力設定
　シフトH： ■■■
　シフトV： ■■

サブメニュー	設定
オートクロマ／フェーズ	色の濃さ（クロマ）と色あい（フェーズ）を調整します。 • **オート調整値**：自動調整値のオン、オフを設定します。「オフ」に設定するとクロマとフェーズの値が工場出荷値となり、「オン」に設定すると自動調整値になります。 • **調整スタート**：カラーバー信号（フル／SMPTE/EIA）を画面に出して、ENTER ボタンを押すと、自動的にオート調整画面が始まります。調整終了後、MENU ボタンを押すと調整画面が消えます。調整が正常終了した場合、「オート調整値」は自動的に「オン」になります。
サブコントロール	コントラスト、ブライト、クロマ、フェーズは前面の調整ボタンの調整範囲を微調整します。 • **コントラスト**：コントラストを調整します。 • **ブライト**：明るさを調整します。 • **クロマ**：色の濃さを調整します。設定値が大きくなると濃くなり、小さくなると薄くなります。 • **フェーズ**：色相（色あい）を調整します。設定値が大きくなると緑がかり、小さくなると紫がかります。 • **アパーチャー：**シャープネスを調整します。設定値が大きくなるとくっきりし、小さくなると柔らかになります。 • **バックライト：**バックライトを調整します。設定値を変えるとバックライトの明るさが変わります。
ピクチャーコントロール	画像を調整します。 • **ACC（オートカラーコントロール）**：オートカラーコントロール回路のオン、オフを設定します。より正確なクロマレベルを確認したいとき「オフ」にします。通常は「オン」にしておきます。 • **CTI（クロマトランジェントインプルーブメント）**：色の解像度の低い信号を入力時、くっきりした画像を出すことができます。 設定値が大きくなるとくっきりします。 • **垂直シャープネス**：垂直方向にシャープネスを付加してくっきりした画像を出すことができます。 設定値が大きくなるとくっきりします。
入力設定	• **シフト H**：画像の位置を調整します。設定値が大きくなると画面が右に、小さくなると画面が左に移動します。 • **シフト V**：画像の位置を調整します。設定値が大きくなると画面が上に、小さくなると画面が下に移動します。

DVI/HD15 入力のとき

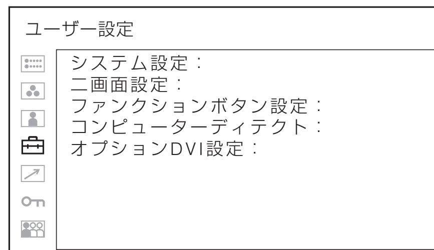
＊ 1/3 画面の項目は調整できません。



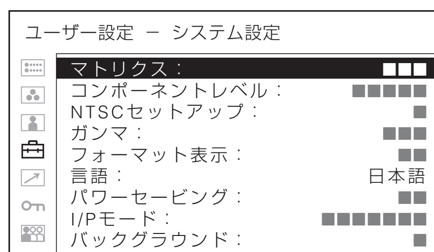
サブメニュー	設定
サブコントロール	コントラスト、ブライト、クロマ、フェーズは前面の調整ボタンの調整範囲を微調整します。 • **コントラスト**：コントラストを調整します。 • **ブライト**：明るさを調整します。 • **クロマ**：色の濃さを調整します。設定値が大きくなると濃くなり、小さくなると薄くなります。 • **フェーズ**：色相（色あい）を調整します。設定値が大きくなると緑がかり、小さくなると紫がかります。 • **アパーチャー：**シャープネスを調整します。設定値が大きくなるとくっきりし、小さくなると柔らかになります。 • **バックライト：**バックライトを調整します。設定値を変えるとバックライトの明るさが変わります。
ピクチャーコントロール	画像がいちばんくっきりと見える位置に合わせます。 • **サイズ H**：画像の水平方向の大きさを調整します。 設定値が大きくなると画面の水平方向の大きさが大きくなり、小さくなると画面の水平方向の大きさが小さくなります。 • **サイズ V**：画像の垂直方向の大きさを調整します。 設定値が大きくなると画面の垂直方向の大きさが大きくなり、小さくなると画面の垂直方向の大きさが小さくなります。 • **シフト H**：画像の位置を調整します。設定値が大きくなると画面が右に、小さくなると画面が左に移動します。 • **シフト V**：画像の位置を調整します。設定値が大きくなると画面が上に、小さくなると画面が下に移動します。 • **ドットフェーズ**：位相を調整します。 APA（29 ページ）を調整した後、さらに画像をくっきりさせたい場合に調整します。 • **ピッチ：**画像の左端を固定したまま、水平方向の画面の大きさを調整します。 設定値が大きくなると画面の幅が広がり、小さくなると画面の幅が狭くなります。 • **解像度：**コンピューター信号を入力時、入力信号が XGA/60 や WXGA/60 などの信号を判別するのが難しいときに、設定します。 • **XGA：**XGA として表示します。 • **WXGA：**WXGA として表示します。 • **リセット：**入力信号のサイズ H、サイズ V、シフト H、シフト V、ドットフェーズ、ピッチが工場設定値に戻ります。

ユーザー設定メニュー

システム設定、二画面設定、ファンクションボタン設定、コンピューターディテクト、オプション DVI 設定を行います。

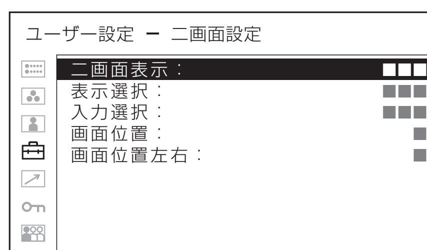


システム設定



サブメニュー	設定
マトリクス	480/60I、480/60P 信号のみに設定できます。601 または 709 を選択します。
コンポーネントレベル	以下の 3 種類のなかから、入力されているコンポーネント信号の種類を選択します。 • **SMPTE**：100/0/100/0 のコンポーネント信号のとき • **BETA0**：100/0/75/0 のコンポーネント信号のとき • **BETA7.5**：100/7.5/75/7.5 のコンポーネント信号のとき
NTSC セットアップ	NTSC 信号のセットアップのレベルを選択します。日本は 0 で、アメリカでは 7.5 で運用されています。このため輸入ソフトには 7.5 のものがあります。
ガンマ	画像に合わせて最適な状態を「2.2」、「DICOM」から設定します。 設定が「2.2」のとき、CRT とほぼ同じガンマとなります。
フォーマット表示	フォーマット表示とスキャンモードが表示されます。 • **オン**：常に表示されます。 • **オフ**：表示されません。 • **オート**：信号入力開始後約 10 秒間だけ表示されます。
言語	メニュー表示やメッセージの表示言語を以下の 7 言語から選択できます。 • **ENGLISH**：英語 • **FRANÇAIS**：フランス語 • **DEUTSCH**：ドイツ語 • **ESPAÑOL**：スペイン語 • **ITALIANO**：イタリア語 • **日本語**：日本語 • **中文**：中国語
パワーセービング	節電モードのオン、オフを設定します。 「オン」に設定すると、本体に信号が入力されない状態が約 1 分以上続くと節電モードになります。
I/P モード （映像遅延最小）	インターレース信号を入力したとき、機器内部の画像処理による遅延を最小にしたいとき設定します。 • **インタフィールド** [*1]：画質優先のモードです。フィールド間での映像の動きを考慮し、補間を行います。処理時間は「フィールドマージ」または「ラインダブラー」に設定したときより長くなります。工場出荷時の設定です。 • **フィールドマージ** [*2]：処理時間が短くなります。動きを考慮せず、奇数フィールドと偶数フィールドのラインをそのまま交互に組み合わせます。静止画を確認する場合に適しています。 • **ラインダブラー**：処理時間が短くなります。フィールドに関係なく、データの到着順にラインを 2 回ずつ引く補間を行います。ラインフリッカーが見えるので、テロップ制作などのラインフリッカーチェック用途にもご使用いただけます。 *1 二画面表示のときは選択できません。 *2 二画面表示で表示選択が SIDE BY SIDE のときは選択できません。
バックグラウンド	画面の上下や左右に表示される黒い帯の明るさを設定します。 • **オフ**：暗く（黒で）表示します。 • **オン**：明るく（グレーで）表示します。

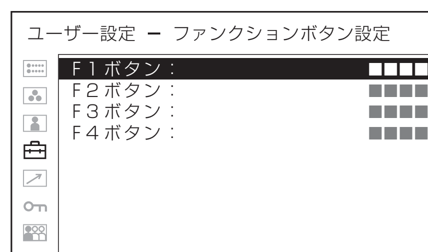
二画面設定



サブメニュー	設定
二画面表示	二画面表示をするとき「オン」に設定します。表示しないときは「オフ」に設定します。 **ご注意** • メイン画面とサブ画面のフレーム周波数が違う場合は、サブ画面の映像が乱れることがあります。 メイン画面に信号がない場合は、表示が不安定になることがあります。 • 入力選択で「オフ」を選択すると自動的に「オフ」になります。 • 二画面表示のとき、APA 機能（29 ページ）は使用できません。
表示選択	• **POP**：サブ画面がメイン画面の横に表示されます。メイン画面のみスキャンモードをノーマルスキャンとオーバースキャンに切り換えることができます。 • **SIDE BY SIDE**：メイン画面が左にサブ画面が右に表示されます。メイン画面とサブ画面のスキャンモードをノーマルスキャンとフルスクリーンに切り換えることができます。スキャンモードは二画面同時に切り替わります。一方の画面のみ切り換えることはできません。 スキャンモードを切り換えるには、スキャン機能を割り当てられたファンクションボタンを押します。詳しくは、「ファンクションボタン設定」（28 ページ）と「ファンクションボタンに割り当てられる機能について」（29 ページ）をご覧ください。 **ご注意** • HD15 または DVI 信号を入力しているとき、SIDE BY SIDE は使用できません。 • SIDE BY SIDE のとき、CTI 機能（25 ページ）は使用できません。

サブメニュー	設定
入力選択	サブ画面の入力を設定します。コンポジット、Y/C、RGB、コンポーネント、DVI、HD15、オプション A-1、オプション A-2、オプション B-1、オプション B-2、ウェーブフォーム、オフから選択します。 **ご注意** • コンポジットと Y/C、RGB とコンポーネント、オプション A-1 とオプション A-2、オプション B-1 とオプション B-2 の組み合わせでの二画面表示はできません。 •「オフ」を選択すると、二画面表示も「オフ」の設定になります。 • HD15 または DVI 入力では表示可能な信号フォーマットに制限があります。詳しくは、「二画面表示のとき」（39 ページ）をご覧ください。
画面位置	サブ画面の表示位置を設定します。 • **1**：上 • **2**：下
画面位置左右	表示選択で POP を選択したとき、メイン画面の位置を設定します。 • **右**：メイン画面をサブ画面の右にするとき • **左**：メイン画面をサブ画面の左にするとき

ファンクションボタン設定



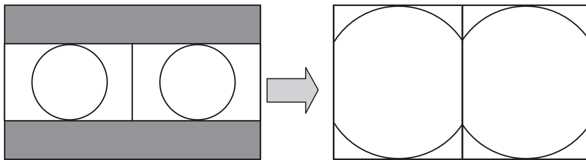
サブメニュー	設定
F1 ボタンから F4 ボタン	前面パネルの F1 ボタンから F4 ボタンに機能を割り当て、機能をオン / オフすることができます。 スキャン、アスペクト、外部同期、ブルーオンリー、MONO、二画面表示、APA、I/P モード、鏡像を割り当てることができます。 **工場出荷時の設定** • **F1 ボタン**：外部同期 • **F2 ボタン**：スキャン • **F3 ボタン**：アスペクト • **F4 ボタン**：二画面表示

ファンクションボタンに割り当てられる機能について

スキャン

画像のスキャンサイズを変えたいときボタンを押します。押すたびにノーマルスキャン（0%スキャン）、オーバースキャン（20%スキャン）、フルスクリーン、ネイティブに切り替わります（30 ページ「スキャンモードイメージ」参照）。ネイティブは、1080i、1080P、720P の信号入力時のみ有効です。1080P は、BKM-250TG を装着したとき選択できます。

二画面表示が「オン」になっていてもスキャンサイズを変えることができます。「表示選択」（28 ページ）の設定によって切り替わるスキャンサイズが異なります。「SIDE BY SIDE」でフルスクリーンに切り換えると、アスペクトを維持したまま画面サイズが大きくなります。このとき、左右の映像は欠けて表示されます。



アスペクト

画面のアスペクト（縦横比）を変えたいときボタンを押して 4:3 または 16:9 を選びます。

外部同期

EXT SYNC IN 端子から入力された外部同期信号で同期をとるときボタンを押します。

外部同期を割り当てたボタンはコンポーネント、RGB 入力時のみ動作します。

ブルーオンリー

赤と緑の信号をカットし、青信号のみを白黒画像として表示したいときボタンを押します。色の濃さ（クロマ）や色相（フェーズ）の調整、VTR ノイズの監視が容易に行えます。

MONO（白黒）

画面を白黒にしたいときボタンを押します。もう一度押すとカラーに戻ります。

二画面表示

二画面表示をしたいときボタンを押します。二画面の設定は二画面設定メニューで行います（27 ページ）。

APA （Auto Pixel Alignment）

HD15 入力端子に信号が入力されている際に、自動的にくっきり見える位置を得たいときボタンを押します。入力信号によって微調整が必要な場合は、「ドットフェーズ」（26 ページ）をご覧ください。

メニュー画面が表示されているとき、および二画面表示のとき、APA は機能しません。

ご注意

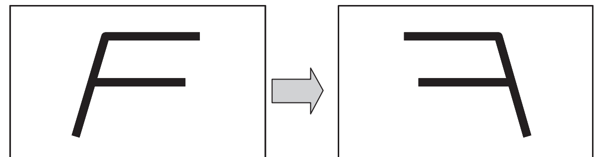
入力信号によっては正常に終了しないことがあります。その際は「ドットフェーズ」（26 ページ）を調整してください。

I/P モード

インターレース信号を入力時、機器内部の画像処理による遅延を最小にしたいときボタンを押します。押すたびにインタフィールド→フィールドマージ→ラインダブラーに切り替わります（27 ページ「I/P モード」参照）。

鏡像

映像信号を左右反転して表示したいときボタンを押します。プリセット 1 の信号および二画面表示のときは、この機能は動作しません。



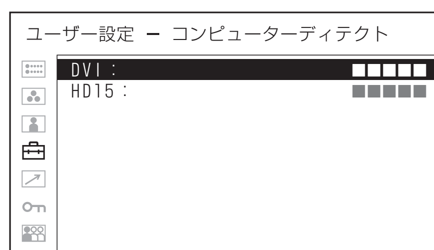
スキャンモードイメージ

入力信号	4 / 3	16 / 9
ノーマルスキャン（ゼロスキャン）	4:3 1600 × 1200	16:9 1920 × 1080
オーバースキャン（20% オーバースキャン）	4 / 3 1600 × 1200	16 / 9 1920 × 1080
フルスクリーン	–	16 / 9 1920 × 1200
ネイティブ（1080i、1080P）	–	1920 × 1080

1080P は BKM-250TG 装着時のみ有効。

ネイティブ（720P）	–	1280 × 720

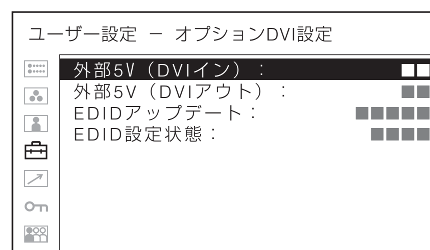
コンピューターディテクト



サブメニュー	設定
コンピューターディテクト	DVI 入力端子および HD15 入力端子から入力されたコンピューター信号に対して適切なプリセットメモリーを設定します。標準的なコンピューター信号には「プリセット1」を設定します。特殊なコンピューター信号に対しては「プリセット 2」～「プリセット 8」より適当なものを選んでください（36 ページ）。 プリセットメモリーは DVI 入力端子、HD15 入力端子それぞれの端子ごとに設定できます。 **ご注意** 「プリセット 7」と「プリセット 8」は、「DVI」を選択したときのみ表示されます。

オプション DVI 設定

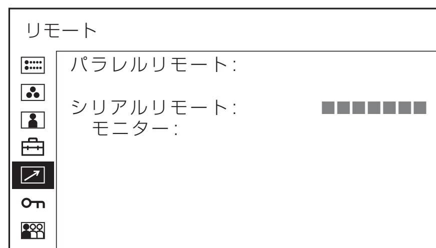
* BKM-256DD が装着されているときのみ表示されます。



サブメニュー	設定
外部 5V（DVI イン）	DVI 入力端子の外部 5V 電源を出力するときは「オン」に設定します。出力しないときは「オフ」に設定します。
外部 5V（DVI アウト）	DVI 出力端子の外部 5V 電源を出力するときは「オン」に設定します。出力しないときは「オフ」に設定します。
EDID アップデート	BKM-256DD に本体（モニター）の EDID の情報をダウンロードします。 「スタート」を選択して ENTER ボタンを押すと、自動的にダウンロードが始まります。ダウンロード中は「EDID UPDATING...」の文字が表示されます。ダウンロード中は CONTROL ボタンは操作できません。 正常にダウンロードが終了したときは「COMPLETE!」の文字が表示されます。 異常時は「ERROR」の文字が表示されます。RETURN キーを押すとメニュー画面に戻ります。

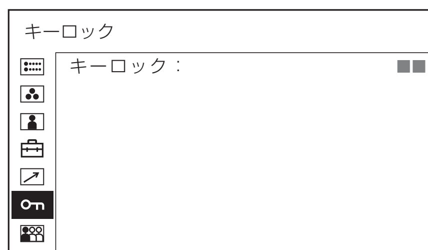
サブメニュー	設定
EDID 設定状態	本体（モニター）の EDID から BKM-256DD にダウンロードされた情報を表示します。 • **モデル**：モニターの機種名 • **シリアルナンバー**：モニターのシリアル番号

リモートメニュー



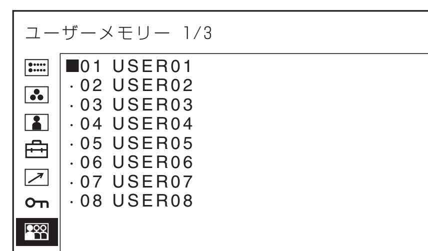
サブメニュー	設定
パラレルリモート	PARALLEL REMOTE 端子で機能を変更したいピンを選択します。 1 ～ 4、6 ～ 8 ピンに各機能を割り付けられます。割り付け可能な機能は以下のとおりです。 • - - -（「- - -」は機能の割付なし。） • コンポジット • Y/C • RGB • コンポーネント • DVI • HD15 • オプション A-1 • オプション A-2 • オプション B-1 • オプション B-2 • オーバースキャン • フルスクリーン • ノーマル • ネイティブ • 4：3 • 16：9 • タリー緑 • 外部同期 • ブルーオンリー • MONO • 鏡像 **ご注意** パラレルリモートを使用する場合は、配線が必要です。詳しくは 36 ページをご覧ください。
シリアルリモート	使用するモードを選択します。 • **オフ**：シリアルリモートは機能しません。 • **RS-232C**：RS-232C のコマンドでモニターをコントロールします。 • **イーサーネット**：イーサーネットのコマンドでモニターをコントロールします。
モニター	モニターの設定を行います。 **IP アドレス**：IP アドレスを設定します。 **サブネットマスク**：サブネットマスクを設定します。(255.255.255.000) **デフォルトゲートウェイ**：デフォルトゲートウェイを設定するかどうか（オン、オフ）を設定します。 **アドレス**：デフォルトゲートウェイを設定します。 **取消**：変更、確定された設定を変更前に戻します。 **確認**：変更、確定された設定を保存、反映します。

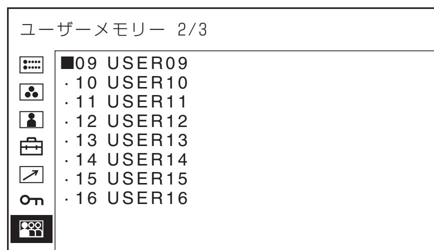
キーロックメニュー

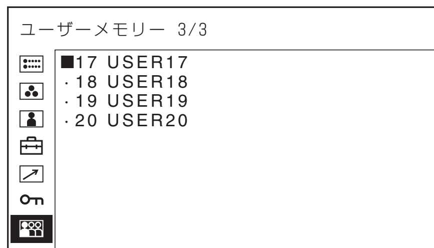


各種設定項目の変更が効かないように、キーロックをかけることができます。
オフまたはオンを選択します。
「オン」に設定した場合、ほかのメニューの設定項目はすべて黒色表示となり、変更できなくなります。

ユーザーメモリーメニュー







サブメニュー	設定
01 ～ 20	メモリー番号ごとに以下の設定をセーブすることができます。 • コントラスト • ブライト • クロマ • フェーズ ホワイトバランス / カラースペースメニュー • 色温度 • ゲイン調整 • バイアス調整 • カラースペース ユーザーコントロールメニュー • アパーチャー システム設定メニュー • ガンマ • I/P モード

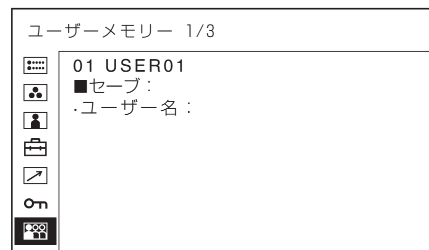
ユーザーメモリーのセーブ

名前を付けて画質の設定を 20 までセーブすることができます。設定をロードするには「ユーザーメモリーのロード」（22 ページ）をご覧ください。

画質設定をセーブするには

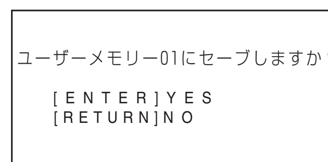
1 ユーザーメモリーメニューで+または－ボタンを押して、設定したいメモリー番号を選び ENTER ボタンを押す。

ユーザーメモリーの設定画面が表示されます。



2 「セーブ」を選び、ENTER ボタンを押す。

セーブ確認画面が表示されます。



3 ENTER ボタンを押す。

現在の画質設定がセーブされ、設定画面に戻ります。

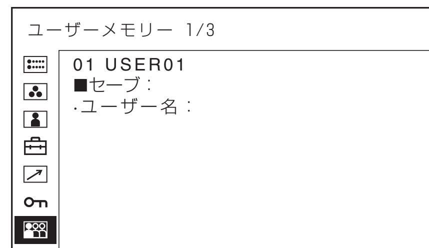
セーブしないときは

RETURN ボタンを押します。
ユーザーメモリーの設定画面に戻ります。

ユーザー名を変更するには

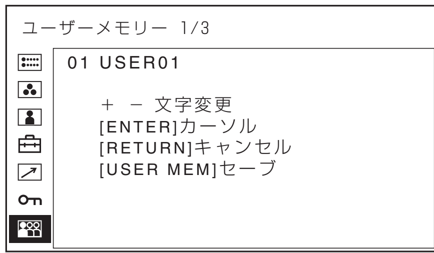
1 ユーザーメモリーメニューで+または－ボタンを押して、設定したいメモリー番号を選び ENTER ボタンを押す。

ユーザーメモリーの設定画面が表示されます。



2 －ボタンを押して、「ユーザー名」を選び ENTER ボタンを押す。

ユーザー名の設定画面が表示されます。



3 ユーザー名を変更する。

- ENTER ボタンを押して変更したい文字にカーソルを動かす。
- + または – ボタンを押して文字を変更する。
  使用できる文字：「A ～ Z」、「0 ～ 9」、「.」、「/」、「,」、「_」、「-」、「(スペース)」
  入力できる文字数：18 文字まで
- 文字を消去したいときは「(スペース)」を入れる。
- 文字変更後ENTER ボタンを押すとその文字が確定し、次の文字にカーソルが移動する。

4 USER MEM ボタンを押す。

設定が保存され、設定画面に戻ります。

変更を保存しないときは

RETURN ボタンを押します。
ユーザーメモリーの設定画面に戻ります。

故障かな？と思ったら

お買い上げ店などにご相談いただく前に、次の事項をご確認ください。

- **画面が緑色や紫色になる** → RGB ボタンまたは COMPONENT ボタンを押して、正しい入力を選んでください。
- **操作ボタンを押しても操作できない** → キーロックが働いています。キーロックメニューでキーロックの設定をオフに切り換えてください。
- **画面の上下に黒い帯が出る** → 信号のアスペクト比とパネルのアスペクト比が異なるときは、上下に黒い帯が出ますが、故障ではありません。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、または添付保証書の「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にあるソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理をさせていただきます。

主な仕様

画像系

LCD パネル　a-Si TFT アクティブマトリクス

有効画素率　99.99%

視野角（上 / 下 / 左 / 右、コントラスト >10 : 1）
89°/89°/89°/89°（typical）

スキャン　ノーマル　0%
オーバースキャン　20%

有効表示画面　518.4 × 324.0、613.2 mm（幅×高さ、対角）

解像度　水平 1,920 ドット、垂直 1,200 ライン

アスペクト比　16 : 10

入出力系

入力

コンポジット入力（NTSC/PAL）
BNC 型（1）
1 Vp-p ± 3 dB 負同期

Y/C 入力　4 ピンミニ DIN（1）
Y: 1 Vp-p ± 3 dB 負同期
C: 0.286 Vp-p ± 3 dB（NTSC バースト信号レベル）
0.3 Vp-p ± 3 dB（PAL バースト信号レベル）

RGB/ コンポーネント入力
BNC 型（3）
RGB 入力：0.7 Vp-p ± 3 dB（Sync On Green 0.3 Vp-p 負同期）
コンポーネント入力：0.7 Vp-p ± 3 dB（75% クロミナンス標準カラーバー信号）

外部同期入力端子
BNC 型（1）
0.3 Vp-p ～ 4.0 Vp-p 正負両極性 3 値または負極性 2 値

HD15 入力端子
D-sub 15 ピン（1）
R/G/B：0.7 Vp-p、正極性（Sync On Green 0.3 Vp-p 負同期）
同期信号：TTL レベル、（極性自由、水平 / 垂直分離同期信号）
プラグアンドプレイ機能：DDC2B 対応

DVI 入力端子　DVI-D 端子（1）
TMDS シングルリンク

リモート入力

パラレルリモート
モジュラーコネクター 8 ピン（1）
シリアルリモート
D-sub 9 ピン（RS-232C）（1）
RJ-45 モジュラーコネクター
（ETHERNET）（1）
入力オプションスロット
2 スロット
信号フォーマット
水平：15 kHz ～ 45 kHz
垂直：48 Hz ～ 60 Hz
DC IN 端子　DC5V/24V（出力インピーダンス 0.05 Ω 以下）

出力

コンポジット出力端子
BNC 型（1）
ループスルー、75 Ω 自動終端機能付き
Y/C 出力端子　4 ピンミニ DIN（1）
ループスルー、75 Ω 自動終端機能付き
RGB/ コンポーネント出力端子
BNC 型（3）
ループスルー、75 Ω 自動終端機能付き
外部同期出力端子
BNC 型（1）
ループスルー、75 Ω 自動終端機能付き

その他

電源　LCD モニター (LMD-2451MD)
DC IN: 24 V 4.5 A　5 V 0.030 A (AC アダプターから供給)
AC アダプター (AC-110MD)
AC IN: 100 V ～ 240 V、50/60 Hz、1.53 A ～ 0.58 A
DC OUT: 24 V 5.0 A　5 V 0.060 A
消費電力　最大約 125 W（BKM-229X × 2 装着時）
動作条件
温度　0 ℃～ 35 ℃
推奨使用温度　20 ℃～ 30 ℃
湿度　30% ～ 85% 以下 (結露のないこと)
気圧　700 hPa ～ 1060 hPa
保存・輸送条件
温度　－ 20 ℃～＋ 60 ℃
湿度　0% ～ 90%
気圧　700 hPa ～ 1060 hPa
付属品　AC アダプター（AC-110MD）(1)
AC 電源コード (1)
AC プラグホルダー (2)
取扱説明書 (1)
CD-ROM (1)
CD-ROM マニュアルの使いかた (1)
早わかりカード (1)
はじめてお使いになるときは (1)
問い合わせ先のご案内 (1)
保証書 (1)
別売アクセサリー
SDI 4:2:2 入力アダプター
BKM-220D
HD/D1-SDI 入力アダプター
BKM-243HS
NTSC/PAL 入力アダプター
BKM-227W
アナログコンポーネント入力アダプター
BKM-229X
3G/HD/SDI 入力アダプター
BKM-250TG
DVI-D 入力アダプター
BKM-256DD
モニタースタンド
SU-560

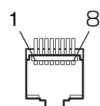
本機は 「高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品」です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
VCCI-A

お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。

ピン配列



PARALLEL REMOTE 端子

モジュラーコネクター
(8 ピン)

ピン番号	機能
1	入力信号 Y/C を指定
2	入力信号 RGB を指定
3	入力信号オプション A-1 を指定
4	入力信号オプション A-2 を指定
5	GND
6	タリーランプの ON/OFF
7	フルスクリーン
8	オーバースキャン

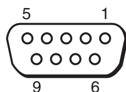
機能割り付けは、リモートメニューで変更できます（31 ページ)。

リモートコントロールを使用するための配線

リモートコントロールで使用したい機能をアース（5 ピン）に接続します。

SERIAL REMOTE (RS-232C) 端子

D-sub 9 ピン、凹



ピン番号	機能
1	NC
2	RX
3	TX
4	NC
5	GND
6	NC
7	RTS
8	CTS
9	NC

対応信号フォーマット

本機は下記信号方式に対応しています。
HD15 および DVI、BKM-256DD の対応信号については、36 ページをご覧ください。

システム	コンポジット、Y/C BKM-227W	RGB、コンポーネント BKM-229X	BKM-220D	BKM-243HS	BKM-250TG
575/50I(PAL)	○	○	○	○	○
480/60I (NTSC) *1	○	○	○	○	○
576/50P	–	○	–	–	–
480/60P	–	○	–	–	–
1080/24PsF *1	–	○ *2	–	○	○
1080/25PsF	–	○ *2	–	○	○
1080/24P *1	–	○ *2	–	○	○
1080/25P	–	○ *2	–	○	○
1080/30P *1	–	○ *2	–	○	○
1080/50I	–	○	–	○	○
1080/60I *1	–	○	–	○	○
720/50P	–	○ *2	–	○	○
720/60P *1	–	○	–	○	○
1080/50P	–	–	–	–	○
1080/60P	–	–	–	–	○

○：対応
–：非対応
*1 フレームレート 1/1.001 にも対応します。
*2 コンポーネントのみ

HD15 および DVI、BKM-256DD 入力対応信号

プリセット信号について

本機は、HD15 端子および DVI 端子、BKM-256DD に入力された信号について映像データをあらかじめプリセットしています（プリセットメモリー）。
プリセットされた信号の入力時は、本機が入力信号を自動的に判別し、プリセットメモリー内のデータを呼び出し、最適な画面に調整します。
本機は以下のプリセット信号に対応します。

一画面表示のとき

プリセット１

HD15

VESA DMT

解像度	ドットクロック [MHz]	fH [kHz]	fV [Hz]	同期極性	
				水平	垂直
640 × 480 60 Hz	25.175	31.469	59.940	負	負
800 × 600 56 Hz	36.000	35.156	56.250	正	正
800 × 600 60 Hz	40.000	37.879	60.317	正	正
800 × 600 72 Hz	50.000	48.077	72.188	正	正
800 × 600 75 Hz	49.500	46.875	75.000	正	正
800 × 600 85 Hz	56.250	53.674	85.061	正	正
1024 × 768 60 Hz	65.000	48.363	60.004	負	負
1024 × 768 70 Hz	75.000	56.476	70.069	負	負
1024 × 768 75 Hz	78.750	60.023	75.029	正	正
1024 × 768 85 Hz	94.500	68.677	84.997	正	正
1152 × 864 75 Hz	108.000	67.500	75.000	正	正
1280 × 960 60 Hz	108.000	60.000	60.000	正	正
1280 × 1024 60 Hz	108.000	63.981	60.020	正	正

VESA CVT

解像度	ドットクロック [MHz]	fH [kHz]	fV [Hz]	同期極性	
				水平	垂直
640 × 480 60 Hz	23.625	29.531	59.780	正	負
800 × 600 60 Hz	35.500	36.979	59.837	正	負
1024 × 768 60 Hz	56.000	47.297	59.870	正	負
1280 × 960 60 Hz	85.250	59.201	59.920	正	負
1360 × 768 50 Hz	69.500	39.489	49.922	負	正
1360 × 768 60 Hz	84.625	47.649	59.936	負	正
1360 × 768 60 Hz	72.000	47.368	59.960	正	負
1920 × 1080 50 Hz	141.375	55.572	49.975	負	正
1920 × 1080 60 Hz	138.625	66.647	59.988	正	負
1280 × 1024 60 Hz	91.000	63.194	59.957	正	負
1280 × 768 50 Hz	65.125	39.518	49.959	負	正
1280 × 768 60 Hz	80.125	47.693	59.992	負	正
1280 × 768 75 Hz	102.875	60.091	74.926	負	正
1280 × 768 60 Hz	68.250	47.396	59.995	正	負

その他

解像度	ドットクロック [MHz]	fH [kHz]	fV [Hz]	同期極性	
				水平	垂直
720 × 400 70 Hz	28.322	31.469	70.087	負	正
1280 × 800 60 Hz	68.900	48.935	59.969	負	負

DVI または BKM-256DD

DVI 入力信号範囲（1920 × 1080/60 Hz まで対応可能）
垂直周波数：50.0 Hz ～ 85.1 Hz
水平周波数：31.5 kHz ～ 77.0 kHz
ドットクロック：
25.175 MHz ～ 148.000 MHz
画サイズ、画位相：DE (Data Enable) 信号による自動判別

プリセット２

	プリセット信号	fH [kHz]	fV [Hz]
HD15	1514 × 483	31.5	60
	1476 × 576	31.3	50
	1920 × 1080	33.75	60
	1920 × 1080	28	50
DVI/ BKM-256DD	1280 × 483	31.5	60
	1280 × 576	31.3	50
	1920 × 1080	33.75	60
	1920 × 1080	28	50
	1280 × 720	45.0	60
	1280 × 1024	63.2	60
	1280 × 1024	64.0	60

プリセット３

	プリセット信号	fH [kHz]	fV [Hz]
HD15	720 × 483	31.5	60
	720 × 576	31.3	50
	1280 × 720	45.0	60
	1280 × 720	37.5	50
DVI/ BKM-256DD	720 × 483	31.5	60
	720 × 576	31.3	50
	1280 × 720	45.0	60
	1280 × 720	37.5	50

プリセット４

	プリセット信号	fH [kHz]	fV [Hz]
HD15	640 × 480	31.5	60
	1024 × 768	48.4	60
	1280 × 960	60.0	60
DVI/ BKM-256DD	1024 × 768*1	33.75	60
	1024 × 768	48.4	60
	1280 × 960*1	33.75	60
	1280 × 960	60.0	60

*1 HD-SDI 信号（1080/60I）にのみ対応

プリセット５

	プリセット信号	fH [kHz]	fV [Hz]
HD15	640 × 480	31.5	60
	800 × 600	31.3	50
DVI/ BKM-256DD	800 × 600	46.9	75

プリセット６

	プリセット信号	信号規格
HD15	576/50P	ITU-R BT.1358
	480/60P	SMPTE-293M
	1080/50I	SMPTE-274M
	1035/60I	SMPTE-260M/BTA S-001B
	1080/60I	SMPTE-274M/BTA S-001B
	720/60P	SMPTE-296M
	720/50P	SMPTE-296M
DVI/ BKM-256DD	576/50P	ITU-R BT.1358
	480/60P	SMPTE-293M
	1080/50I	SMPTE-274M
	1035/60I	SMPTE-260M/BTA S-001B
	1080/60I	SMPTE-274M/BTA S-001B
	720/60P	SMPTE-296M
	720/50P	SMPTE-296M

プリセット 7（メニューの DVI で設定）*2

プリセット信号	fH [kHz]	fV [Hz]
1422 × 1064	33.75	60
712 × 480	15.734	60
704 × 572	15.625	50

プリセット 8（メニューの DVI で設定）*2

プリセット信号	fH [kHz]	fV [Hz]
1280 × 1008	33.75	60
712 × 480	15.734	60
704 × 572	15.625	50

*2 コンポジットまたは Y/C、コンポーネント、RGB、SDI 信号に対応

二画面表示のとき

プリセット 1

HD15/DVI/BKM-256DD

VESA DMT

解像度	ドットクロック [MHz]	fH [kHz]	fV [Hz]	同期極性	
				水平	垂直
1280 × 1024 60 Hz	108.000	63.981	60.020	正	正

VESA CVT

解像度	ドットクロック [MHz]	fH [kHz]	fV [Hz]	同期極性	
				水平	垂直
1360 × 768 60 Hz	84.625	47.649	59.936	負	正
1360 × 768 60 Hz	72.000	47.368	59.960	正	負
1920 × 1080 60 Hz	138.625	66.647	59.988	正	負
1280 × 1024 60 Hz	91.000	63.194	59.957	正	負
1280 × 768 60 Hz	80.125	47.693	59.992	負	正
1280 × 768 60 Hz	68.250	47.396	59.995	正	負

プリセット２

	プリセット信号	fH [kHz]	fV [Hz]
HD15	1514 × 483	31.5	60
	1476 × 576	31.3	50
	1920 × 1080	33.75	60
	1920 × 1080	28	50
DVI/ BKM-256DD	1280 × 483	31.5	60
	1280 × 576	31.3	50
	1920 × 1080	33.75	60
	1920 × 1080	28	50
	1280 × 720	45.0	60
	1280 × 1024	63.2	60
	1280 × 1024	64.0	60

プリセット３

	プリセット信号	fH [kHz]	fV [Hz]
HD15	720 × 483	31.5	60
	720 × 576	31.3	50
	1280 × 720	45.0	60
	1280 × 720	37.5	50
DVI/ BKM-256DD	720 × 483	31.5	60
	720 × 576	31.3	50
	1280 × 720	45.0	60
	1280 × 720	37.5	50

プリセット４

	プリセット信号	fH [kHz]	fV [Hz]
HD15	640 × 480	31.5	60
	1024 × 768	48.4	60
	1280 × 960	60.0	60
DVI/ BKM-256DD	1024 × 768*1	33.75	60
	1024 × 768	48.4	60
	1280 × 960*1	33.75	60
	1280 × 960	60.0	60

*1 HD-SDI 信号（1080/60I）にのみ対応

プリセット５

	プリセット信号	fH [kHz]	fV [Hz]
HD15	640 × 480	31.5	60
	800 × 600	31.3	50
DVI/ BKM-256DD	800 × 600	46.9	75

プリセット６

	プリセット信号	信号規格
HD15	576/50P	ITU-R BT.1358
	480/60P	SMPTE-293M
	1080/50I	SMPTE-274M
	1035/60I	SMPTE-260M/BTA S-001B
	1080/60I	SMPTE-274M/BTA S-001B
	720/60P	SMPTE-296M
	720/50P	SMPTE-296M
DVI/ BKM-256DD	576/50P	ITU-R BT.1358
	480/60P	SMPTE-293M
	1080/50I	SMPTE-274M
	1035/60I	SMPTE-260M/BTA S-001B
	1080/60I	SMPTE-274M/BTA S-001B
	720/60P	SMPTE-296M
	720/50P	SMPTE-296M

プリセット７（メニューの DVI で設定）*2

プリセット信号	fH [kHz]	fV [Hz]
1422 × 1064	33.75	60
712 × 480	15.734	60
704 × 572	15.625	50

プリセット８（メニューの DVI で設定）*2

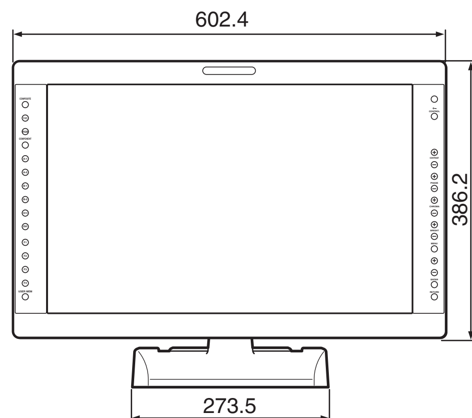
プリセット信号	fH [kHz]	fV [Hz]
1280 × 1008	33.75	60
712 × 480	15.734	60
704 × 572	15.625	50

*2 コンポジットまたは Y/C、コンポーネント、RGB、SDI 信号に対応

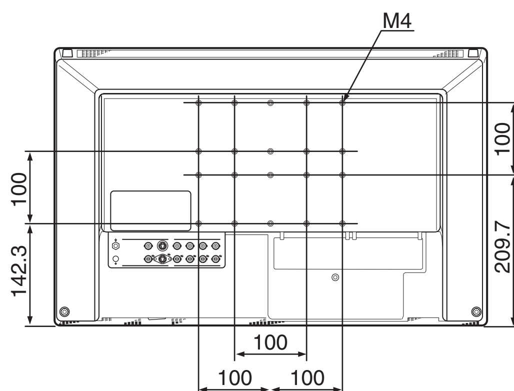
寸法図

前面

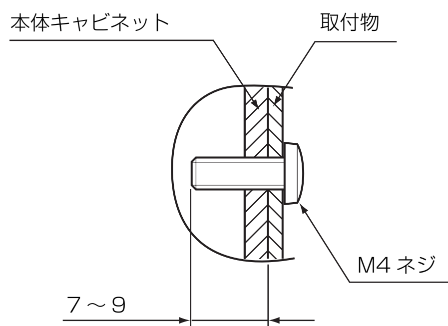
別売スタンド SU-560 を取り付けたとき



後面

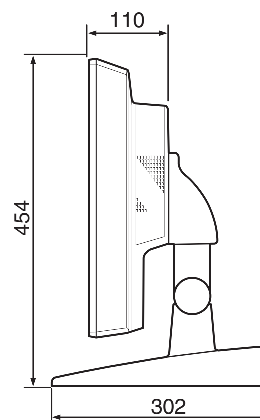


＊ M4 ネジの長さ（4 か所）



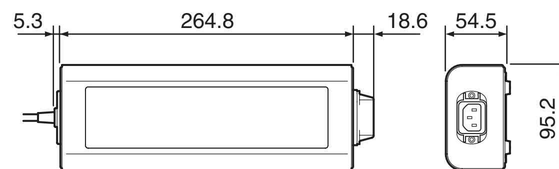
側面

別売スタンド SU-560 を取り付けたとき



質量　約 8.3 kg（モニタースタンドおよび入力アダプター未装着時）
約 8.7 kg（モニタースタンド未装着で BKM-229X × 2 装着時）

AC アダプター



単位：mm

質量　約 1.2 kg

お問い合わせは
「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社　　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1

http://www.sony.co.jp/